

つながり



令和4年度高島学園小中一貫教育だより 2022.11.8.(火)
高島小学校 36-1106 ・ 高島中学校 36-0079 地域学校協働本部 36-8018

11月に入り、木々の葉が鮮やかに色づく季節となりました。高島学園でも、学びや行事をとおして異年齢の子どもたちが関わり合い、助けってもらったり頼りにされたりする姿が見られます。



いざというときに 備えて…



今年度も、地震と火災の発生を想定した小中合同避難訓練を実施しました。まず、避難経路を通してグラウンドに避難して学級ごとに整列、そして次に、住んでいる地域ごとに避難することを想定して、中学生のリーダーのもとに地区別に整列しました。小学生だけ、中学生だけの集団から、学園全体の大きな集団への移動です。中学生が小学生に声をかけたり、5、6年生が低学年の児童を誘導したりすることで、スムーズに地区別の避難訓練ができました。

地区によっては、いつも一緒にバスに乗っていて、小学生も中学生もお互いによく見知っている人の多い地域もあれば、同じ地区にどんな人がいるのか、初めて知ったというような地域もあったようです。今回の訓練で改めて、住んでいる地域の仲間とのつながりを感じながら、いざというとき、自分の命を守り、声をかけ合って避難することの大切さを学ぶことができました。



お手紙ボランティア 温かい思いが引き継がれます



「季節のあいさつ」
には、どんな言葉
を書いたらいいの？

高島学園では、2年前から高島住民福祉ネットワークが行っておられる配食サービスの利用者である高齢者の方々に向けて、「お手紙ボランティア」を行っています。このボランティアは、4年生から9年生の児童生徒が取り組んでおり、毎月配達されるお弁当に子ども達が生きたカードを添えてもらう形で、実施しています。

今月は、4年生が初めてお手紙を書くことになりました。国語科の学習で手紙の書き方を学習して、いよいよお手紙を書くこと聞いて、9年生がサポーターとして4年生の教室を訪問しました。



大きい字ではっきり書
くと読みやすいよ。

毎月このお手紙が届くのを、とても楽しみにしておられるそうです。お返事も届いたりしているんですよ。みんなも、楽しんで書いてくださいね。



4年生は、9年生に手紙の内容を相談したり、漢字のチェックをしてもらったりして、心温まるお手紙カードに仕上げることができました。数日後には、4年生から9年生へのお礼のメッセージが届き、「力になれてよかった」と9年生も温かい気持ちになりました。

9年生へ
手紙を書けてうれし
かったです。秋の絵をか
くことにしました。い
ろいろ教えてくれてあ
りがとうございました。
4年生より

第2ステージ MyCity 高島 ふるさと高島の魅力を再発見!

5年生から7年生の第2ステージでは、「高島の魅力を再発見～産業の視点から～」をテーマに、地域学習の「MyCity高島」に取り組んできました。この学習は、「高島市の自然や歴史、産業を学び、地域のよさや魅力を再発見し、地域に生きる人の思いを理解して、ふるさとについて考える」ことを目的としており、3学年で20の縦割りグループに分かれて学習を進めました。



今年度は、9月から事前学習に取り組み、10月5日にそれぞれが市内のさまざまな事業所に直接訪問して、取材や体験をしてきました。校外学習には、8人の地域のボランティアさんが子ども達と一緒に活動に参加してくださいました。そのあと、事後学習として取材・体験したことについて、5年生はタブレットを使ってCMを作成し、6年生は国語科の学習と併せてパンフレットを作り、7年生は新聞を作成して、学習のまとめができました。

そして、11月9日の交流会では、校外学習でお世話になった事業所の方やボランティアさん、高島学園学校運営協議会の委員さんも参観される中で、グループごとに学習したことを発表して交流します。第2ステージでは、地元高島の魅力について、たくさん学びます。学習を通して、「私たちにも高島のために何かできることはないかなあ。」と地域への思いを新たにすることができました。



地域のイベントを盛り上げよう! ～大溝まちづくりマルシェ～



ボランティアに参加して、他学年の人と仲が深まったと思います。たくさんのお客さんが来るにはどうしたらいいかなどを考えたり、一緒にご飯を食べたりしたからです。また、最初緊張していたときに声をかけてくれたり、やり方を教えてくれたりした地域の方たちとも仲が深まりました。ボランティアをすることで、学校だけでなく地域の人たちともつながれるのでいいなと思いました。

たくさんの方が同じ場所に集まるだけで、こんなにも賑やかになるのかと思いました。たくさん来てくれる子ども達にバルーンアートを作りました。いろいろ大変だったけど、子ども達の笑顔が見られてよかったです。

10月30日「大溝まちづくりマルシェ」が開催され、15人の中学生がボランティアで、イベントのお手伝いをしました。「地域のイベントを一緒に盛り上げたい」という思いで集まったメンバーは、お寺に开店された「寺カフェ」で接客や食器洗いをしたり、ボードゲームコーナーで小学生やお客さんにゲームの方法を教えたり、一緒に遊んだりしました。また、バルーンアートコーナーでは、初めてながら風船で剣や花を作って子ども達をもてなすなど、大活躍でした。初めての取り組みでしたが、「みんなで地域のイベントを盛り上げられた」と実感できたようです。